

【事業実績】

1 (1). 釜山会場ワークショップ（長崎県美術館推薦作家による）

■内容

マスキングテープを使った制作の面白さを体験しつつ、長崎ゆかりの作家との交流を通し、作品制作の楽しさを味わいながら日韓の文化交流を図るもの。自作にてマスキングの技法を使い制作する講師の指導のもと、参加者それぞれで、釜山の街並みを思い浮かべながら建物などのかたちを、テープを鉛筆で描くように貼り、色を塗ることで小さな作品を制作。その後大きな共同作品（140 cm×5 m）を1枚制作する。その過程で、他者と一緒に作品を作り上げる喜びを体験することで、短時間で充実した制作ができるようにした。

■参加者アンケートより [参加者数]25人 [回答率]100%

ワークショップの内容に関する否定的な感想はなく「もっとしたい」「とても面白かった」と高評価であった。「ワークショップ後、日本と日本文化への親しみを持ったか？」という問いについては、25人中一人を除いて「はい」との回答であった。同問いに対し「いいえ」と回答した参加者も自由記述欄では「(このワークショップを) もっとしたい」と肯定的な回答をしていたため、対象が低学年の児童であったことから、そもそも対象者に日本という認識がなかったのかも知れないと思われる。

なお、本来は5段階評価を行う予定であったが、釜山市立美術館からの要望で、参加者のほとんどが小学校低学年~中学年となったため、評価方法を「はい」か「いいえ」の分かり易い選択方式とした。

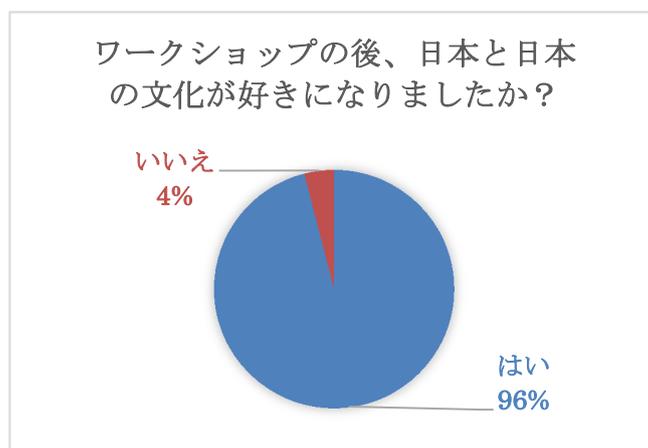
■アンケートによる質問と回答

質問内容	はい	いいえ
今日のワークショップは面白かったですか？	25	0
ワークショップの後、日本と日本の文化が好きになりましたか？	24	1

■自由記述欄

○最も面白かったところはなんでしたか？

1. 絵の具を塗ってマスキングテープを剥がしたこと。
2. マスキングテープで絵を描いて、色塗りする時。
3. マスキングテープ貼り。
4. テープを貼って絵の具をつけたのが面白かった。
5. マスキングテープ貼って絵を描く時。
6. テープを剥がす時。
7. テープ貼ること。
8. 色塗り。
9. マスキングテープでやった絵を描く授業。
10. 絵の具で色をつける時。
11. マスキングテープで絵を描く授業をする時。
12. 大きな紙に絵を描いたこと。
13. マスキングテープ貼り。
14. 一人での描き。
15. 色塗り。
16. 一人での描き。
17. 絵の具を塗るとき。
18. 描くこと。



19. マスキングテープを利用するため
20. 絵の具で描くこと。
21. キャンバスにテープを貼るのがいちばん面白かったです。
22. テープ剥がし。
23. テープを貼るのが面白かったです。
24. はたのしんじ先生と活動もやって、マスキングテープ活動もできて楽しかった。
25. テープ剥がすのがいちばん面白かった。

○ワークショップに参加し感じたことを自由に書いてください。

1. 面白かった。今度またこのようなプログラムをやってほしい。
2. 本当に気分がいい。今度また参加したい。
3. 今度また参加したい。
4. 面白かった。今度また参加したい。
5. 普段、絵を描くとなると鉛筆やペンを使うが、マスキングテープで絵を描いて新鮮だった。
6. テープを剥がしたらいい絵ができた。
7. 面白くてまたやりたい。日本の先生と授業ができて楽しかった。
8. 日本の芸術について勉強できた。
9. マスキングテープを使った授業を受けて新鮮だった。日本の文化を知ってよかった。
10. このプログラムがもう一度あったらまたやりたい。理由：絵の具で色をつけるのが面白かったし、マスキングを剥がすのが気持ちよかった。
11. 日本のやり方が分かってよかった。テープを使うのがよかった。
12. 最初に描いたのはマスキングテープのため都市がまっすぐじゃなくて可笑しかったが、テープを剥がしたらまっすぐになってきれいに見えました。
13. よかった。
14. 面白かったです。またやりたいです。
15. マスキングテープだけと思ったんだけど、絵の具やテープで色々できるんだと思った。
16. 今度もやりたい。
17. 新鮮で面白かったです。
18. 19. よかった。
20. いいです。小さい絵を描くのが。
21. 面白くて楽しかったです。そしてテープを貼ったり剥がしたりしながら絵を描くことができるんだと知りました。
22. テープを剥がすのが面白かったです。
23. 面白くないだろうと思ったんだけど、面白くてまたやりたい。
24. はたのしんじ先生と活動もでき、マスキングテープ、絵の具も使ってよかった。
25. またやりたい。

■新聞記事等掲載

○2019年12月6日 長崎新聞文化面にカラー記事として掲載。

記事タイトル：最後は日本語で「ありがとう」韓国児童が長崎の作家とアート交流 長崎県美術館と釜山の美術館合同でワークショップ

URL：<https://this.kiji.is/575495836054619233?c=174761113988793844>

○長崎県美術館アトリエブログ：日韓文化交流事業「マスキングテープで街を描こう！」

<https://edublog.nagasaki-museum.jp/>

■画像（釜山会場ワークショップ実施風景）



1 (2). 長崎会場ワークショップ（釜山市立美術館推薦作家による）

■内容

「私の中の私」というタイトルで、「アイデンティティ」をキーワードに、写真というメディアを使用して作品を制作するワークショップであった。具体的には、まず雑誌やポスター、SNSといったものを例に、写真というメディアが我々の生活においていかに身近なものであるかの説明があった。次にアイデンティティについて、長崎と釜山の相似性や独自性が現れた写真を基に説明があった。更に「アリラン公演団」「招待状」といった、脱北者や東南アジアからの国際結婚による移住者といった、韓国社会におけるマイノリティに焦点をあてた講師の写真作品シリーズを通して、韓国という国のアイデンティティについて語られた。それらの説明の後、事前にプリントされた写真（参加者が持っている写真の中から「記憶・家族・都市（町）・家・思い出・友達・好きなもの」といったテーマに沿ったもの）を5枚程度選び、自分だけのアイデンティティをフォトコラージュで表現。最後に参加者が制作した自作を全員で鑑賞しながら講師がコメントし、記念撮影を撮り終了した。

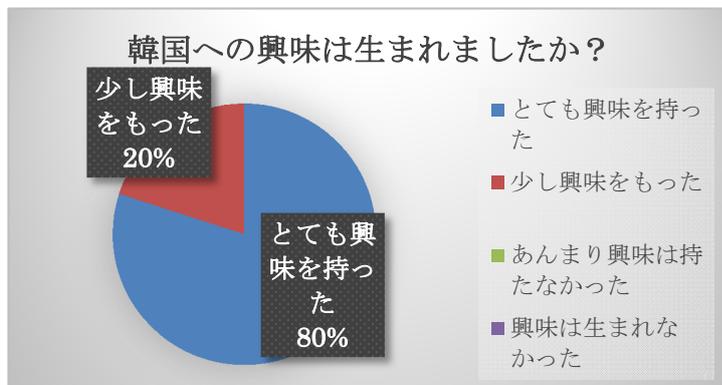
■参加者アンケートより[参加者数]25人 [回答率]100%

■質問と回答

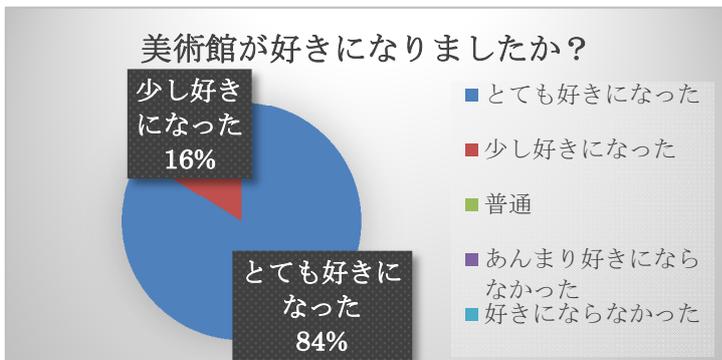
今日の活動は楽しかったですか？	回答数
とても楽しかった	25
少し楽しかった	0
普通だった	0
あんまり楽しくなかった	0
楽しくなかった	0



今日のワークショップの先生は韓国の方でした。韓国への興味は生まれましたか？	回答数
とても興味を持った	20
少し興味をもった	5
あんまり興味は持たなかった	0
興味は生まれなかった	0



今日の活動を通して、美術館が好きになりましたか？	回答数
とても好きになった	21
少し好きになった	4
普通	0
あんまり好きにならなかった	0
好きにならなかった	0



■自由記述欄

○今日の活動が楽しかった理由について自由に書いてください。

- 1.自分の好きなものを1つの作品にして表現できたからとても楽しかった。
- 2.美術に対してより興味を持ったり、自分がいつも思っていることを何となくではなく明確に表現でき

とても楽しかったから。

- 3.美術部に提出した写真を使って自分の発表を考えるという活動内容がとても楽しかった。自分の発表が上手く行って良かった。
- 4.日頃、このような活動をあまりしないので、新しい活動に今までない感性が生まれた！とても楽しかった！！
- 5.自由に表現したりすることで、今までにない感性が芽生えた。
- 6.今回の活動で自分を振り返ることもでき、更に自分の周りの事を好きになれた。写真をうまく使えてあたたかい家の雰囲気が表現できた。
- 7.自分が思っていることや考えていることを自由に形にできたところがとても楽しいと感じた。
- 8.自由自在に活動ができて、自分の作品を作ることができたから。
- 9.自分のことを自由に写真や絵で表現できたから。
- 10.自分の好きなものについて写真で考えることは面白かった。
- 11.あまり思いつかなかったが、大きな紙に自分の思いを描けたから。
- 12.自分のアイデンティティを自由に楽しく表現することができたから。
- 13.もともと絵を描くことが好きだし、写真と絵を混ぜて描くということはあまりないのでとても楽しかった。
- 14.このような作品作りは初めてで、"自分"をお題として制作したのが、はじめてだったのでとても楽しかった。
- 15.「私」について考え、写真を使って表現できたから。写真をじっくり見る素敵な時間を過ごせた。
- 16.今までしたことのないことで、自分のアイデンティティが表現できたので楽しかった。
- 17.先生が韓国の方だったこと。写真を使って色々とするのが好きだから。何か一つのことには没頭して作るのが楽しかった。
- 18.色々、写真を組み合わせたりして、とても楽しかったから。そして、先生のお話も聞いて面白かった。
- 19.今回、「自分のアイデンティティや、自分の個性を見つめなおす」というテーマで行ってみて、改めて自分の好みや個性を感じる事が出来たので、とても面白かった。
- 20.自分の好きなものを自由に表現でき、部活の人とも楽しく活動ができたので良かった。また、部活のメンバーの好きな物・思い出・友達・家族といったことを知るいい機会だった。
- 21.韓国の事や他の国の事もよく知れたので良かった。
- 22.写真をこういうふうにコラージュしたりすることがなかったので、とっても楽しかったし、新鮮だった。写真は撮るのも、見るのも好きなので、機会があったらまたチャレンジしたい。
- 23.今回のように写真をコラージュするのははじめてだったけど、うまく切り貼りをして完成させることが出来たから良かった。また、釜山市と長崎が似ていて興味を持つこともできたので楽しかった。
- 24.自分が撮った好きな写真を、自由に切って貼れたからです。
- 25.自分の好きなテーマで自由に作れて、とても楽しかった。他の人の作品で自分で絵を描いたり、いろんなテーマがあって面白かった。

○今日の活動で思ったことを自由に書いてください。

- 1.他国の方々と共にアドバイスをもらったりして、製作途中だけどとても良い作品が出来たと思う。
- 2.韓国の人に対して、いい人が多いというイメージを持つことが出来たし、韓国語にもふれられてとても楽しかった。賞を多くとっている方はとても凄いなと思ったし、自分も美術の作品で賞をとってみたいと思った。これからより丁寧に作品を作ろうと思う。
- 3.賞をとっている写真の先生に教えていただいてアイデンティティが大切だということを知った。

4. アイデンティティをもう1度考えてみたことで、自分を見つめなおすことが出来た。何年後かにこれを見直したとき、きっと楽しくなると思うから楽しみだ。
5. 自分の周りを考え直すことで、改めて知ることが出来た。
6. 自分の事を写真を使って表現することは、難しかったけどいい思い出となった。
7. 人それぞれ同じ写真でも、加工の仕方が違ったりして美術っておもしろいなと思った。これからもこのような機会があったら参加したい。
8. 色々な写真や、色々な作品を見ることで、その人がどういう経験をしたのか、どんな風に過ごしているのかがよく分かってとても良かった。
9. 今日は正直、何をするのかわからなかったけれど、写真や絵を使って自分を自由に表現することは難しいことであり、楽しい事でもあるんだなと思った。
10. 作った物の考え方がみんな一人一人違って、みんなの好きな物や友達を知ることが出来た。自分の想像力などをもっと使って製作できて良かった。
11. みんなの発想がとても素敵で、自分もこんな発想を持ちたくなった。また、みんなの好きな物や友達について知れた。
12. 今日の活動で、絵を描くのももちろん楽しいけれど、それで自分を表現することもまた楽しい、ということを深く感じる事が出来た。
13. もう少し時間があったらよりいいものが描けたと思う。
14. 美術部でもこのような面白い作品を作りたいなと思った。
15. 写真が好きになった。写真を撮る技術が欲しくなった。
16. 美術館といっても、こういうこととして広く深いと思ったから。
17. 新しいことが多かった。こういう風に写真を用意して切ったり貼ったりして何かを作るということは、なかなかないのでとても楽しかった。美術は国境を越えて人々を繋ぐツールになっているのだと感じた。
18. 交流会で長崎と似ている韓国の街があると聞いて、韓国への興味が生まれた。先生が組み合わせで完成させたものは、とても自由で、趣味で撮った物を組み合わせたりしていてとても凄いなと思った。自分もやってみて、とても難しいなと思った。組み合わせ方やどの位置につけるかなどと考えてみたら、凄く難しい事なんだなと思えた。とても楽しかった。
19. 初めのうちは緊張と不安でいっぱいだったが、行っていくにつれて緊張などが緩み、時間が足りなくなってしまうようになった。先生はとてもユニークな方でお話しをしながら作業を行うことができ、楽しかった。
20. 少し写真に興味を持てた。自分の好きなものを組み合わせた作品が作れてよかった。こういった機会がめったにないので、思い出の1つになった。今日のこの活動に参加できたことを嬉しく思うし、楽しい時間だった。
21. 写真の事に更に興味を持った。イ・ドングン先生、本当に今日はありがとうございました。昨年とは全然違った取り組みで、とてもワクワクした。写真が綺麗だと褒めてもらって嬉しかった。
22. 初めての経験は新鮮で、楽しく過ごせた。皆様に心からお礼を申し上げます。
23. 韓国の釜山市と長崎が歴史や街の風景が似ていたことに驚いた。もともと韓国に興味を持っていたけど、もっと興味が湧いた。韓国の歴史をもっと調べてみたいと思った。また、コラージュを他の分野でも素材を増やしてやってみたい。
24. 釜山と長崎は似ているとわかったし、写真の賞を2個もとっている凄い人だと知ってとてもびっくりした。写真を撮ったりするのはもともと好きだったけど、今回の体験でもっと興味を持った。韓国には有名人がたくさんいるので、今度行ってみたい！

25. 最初のテレビでの写真や先生の作品がすごく、自分も韓国に行きたいととても思った。簡単に出来たので、またやりたい。

■新聞記事等掲載

○2020年2月9日 西日本新聞長崎県版

記事タイトル：釜山の写真家がワークショップ 県美術館で中学生対象

○長崎県美術館アトリエブログ：釜山市立美術館推薦作家によるワークショップ「私の中の私」を実施しました。URL：<https://edublog.nagasaki-museum.jp/>

■画像（長崎会場ワークショップ実施風景）

